

会 議 録

会 議 の 名 称	令和元年度第2回文化財保護審議委員会
開 催 日 時	令和元年8月19日(月) 午前・ 午後 1時00分から 午前・ 午後 4時30分まで
開 催 場 所	新座市役所観光プラザ2階 セセラギ
出 席 委 員	根岸茂夫、岩崎信丈、本間暁、柳正博、松竹寛山
事 務 局 職 員	教育総務部長 渡辺哲也 教育総務部副部長兼生涯学習スポーツ課長 金子啓一 生涯学習スポーツ課副課長 斉藤政登 同課主事兼学芸員 笹川紗希 同課主事 戸口拓哉
会 議 内 容	1 開会 2 挨拶 3 議題 (1) 指定候補文化財の経過報告 (2) 文化財保護審議委員会視察研修について (3) その他 4 閉会
会 議 資 料	・ 次第 ・ 片山富士の指定調書(案)…資料1 ・ 片山富士の調査…資料2 ・ 視察研修について…資料3 ・ 令和元年度文化財保護審議委員会日程表…資料4
公開・非公開の別	① 公開 2 一部公開 3 非公開 (傍聴者 0人)
欠 席 委 員	佐藤善信、宮瀧交二
審 議 の 内 容 (審議経過、結論等)	
1 開会(事務局)	
2 挨拶(委員長)	
3 議題 (1) 指定候補文化財の経過報告 資料1、2に基づき、事務局が説明する。	

<審議内容>

委員長： 石造物について、過去に市史において『新座の金石文』として調査をしている。その形式に準じて一覧にして調書に加えてはどうか。新座の文化財として片山富士に重要な石造物であるという所見を加えておくと良い。

委員： 所見と概要を分けて書いた方が良いのではないか。志木市の田子山富士の調書を参考にすると良い。所見の部分が指定理由になるように書くと分かりやすい。

石造物の数え方は基とし、表にした石造物はどこに何があるかが分かるようにしておくこと。

委員長： 実測図があるので、それに番号を入れ表に対応させると良い。

委員： 『新座の金石文』にはすべての石造物が掲載されているのか。

委員長： すべては掲載されていない。そのため再調査が望ましい。

委員： 市内に現存する唯一の富士塚であるということ、丸吉講で初めて作られた富士塚であるといった所見に相応しい資料があるはずである。その辺りを調べ書いた方が分かりやすい。

委員： 所見の最後にある「地域の生活や風土を知ることのできる貴重な資料・・・」という部分に富士講の説明をもう少し加えてはどうか。富士塚がどういうものかということについては上段で説明し、それがどのように生活や風俗に係わってくるかを書くことで分かりやすい調書になるのではないか。

表現の問題だが、所見中段の「新座市周辺に築造された丸吉講の富士塚は現存では10基ある・・・」という部分は、資料2の調査を見てみると広い範囲を調べているため、新座市周辺を含めた武蔵野台地北西部というような広い範囲を表現した方がいいのではないか。

資料2は調書に添付するものではないため、調書はもう少し詳しく書いた方がよいと思う。

委員長： もう一度直し、できれば今年度指定に持ち込みたい。

事務局： 修正し調べ直したものをもう一度各委員にメールする。ご意見があればその都度いただきたい。

委員： 石造物の調査ができるのであれば、富士塚を一括で指定していただきたい。

委員長： その場合は「付けたり」にした方がよいのか。

委員： 一括でよい。

委員長： 今の内容で指定という方向で良いので、調書を修正すること。学術的な価値の記述は必要であるが、市民の方にPRできるような文章にすることが望ましい。

委員： 資料2の最初にある富士講についての部分で、「富士講とは、江戸時代に成立した民衆信仰の一つで・・・」とあるが、民間信仰という言葉をする。仏教、キリスト教、イスラム教、教化教団のある宗教に対して、この手の宗教を民間信仰という言葉を使っている。

委員長： その他お気づきの点があればメール等で事務局へ連絡するとし、片山富士については継続審議とする。

(2) 文化財保護審議委員会視察研修について

資料3に基づき、事務局が説明する。

< 審議内容 >

委員長： 視察先について、1、2の案を出していただいたが、事務局としては1を推進したいということであるが、こちらで良いか。

→ 一同了承

委員長： 日程についてはいかがか。

→ 10月31日を希望する。

事務局： 10月31日とし、本日欠席の委員にも確認する。バスの空き状況を確認し、第二候補日案を追って連絡する。

(3) その他

資料4に基づき、事務局が説明する。

< 審議内容 >

令和元年度文化財保護審議委員会の日程について、視察研修以降の第3回は12月9日(月)【予定】となった。

4 閉会(事務局)